# 1.1・求人ポスター

目標:

・求人ポスターの内容が理解できる

・募集している会社の概要が理解できる

## Track\_1

夢の世界へようこそ！ アルクテクノロジー社は 秋葉原に本社があり、シリコンバレーにも支社のある ロボット開発企業です。 日本とアメリカで活躍するエンジニアたちは合計3500人！ あなたもここで未来を作る仲間に入りませんか。 私たちは、夢のある若い技術者たちを応援しています。 あなたに熱い夢があるなら、ぜひ、当社へ！「 ロボットと共に明るい未来を」。 アルクテクノロジー。

# 1.2・電話で問い合わせる

目標:

・電話で求人の応募資格を確認できる

・電話で採用試験の詳細を質問できる

## Track\_2

A: はい、未来創造社でございます。

B: 私、リーと申しますが、御社の求人ポスターを拝見しまして・・・エンジニアの募集について、 お尋ねしてもよろしいでしょうか。

A: 求人の件ですね。担当の者に代わりますので、少々お待ち下さい。

B: お電話代わりました。 人事部の田口と申します。

A: お忙しいところ失礼いたします。 リーと申しますが、 エンジニアの 応募資格 の件で、質問させていただきます。

B: はい、どうぞ。

A: あの、日本の情報処理技術者試験を受けたことがないんですが、日本で働くには、この試験に合格していなければなりませんか。

B: 失礼ですが、どちらからおかけですか。

A: 中国の大連です。

B: ああ、 中国の場合は情報産業部の試験に合格していれば大丈夫ですよ。

A: そうですか。プログラマーの部門でもいいですか。

B: プログラマー部門でもビザは出ます。 でも、採用試験には技術関連の問題がありますから、まずはそれに合格しなければなりませんね。

A: そうですか。応募書類は郵送するのでしょうか。

B: メールに添付してもいいですよ。

A: よく分かりました。ありがとうございました。

## Track\_3

A: はい、お電話代わりました。人事部の田口です。

B: あ、おはようございます。 ラシュと申します。 求人の件でお聞きしたいことがあるんですが。

A: 何でしょうか。

B: 私はインドのバンガロールで働いているんですが、こちらの資格は日本でも有効ですか。

A: インドの資格というとドアックですか。

B: そうです。

A: どのレベルですか。

B: レベルCです。

A: レベルCなら日本の資格と同じように扱われますから、大丈夫ですよ。

B: そうですか。 安心しました。

A: うちのウェブサイトから資料は ダウンロードしましたか。

B: はい、しました。でも、 まだ資格の所までしか読んでいないんです。

A: じゃあ、半分ぐらい読んだんですね。 まずは全部読んでみて、わからないことがあったら、また電話してください。

B: 分りました。ありがとうございます。

# 2.1・自己紹介

目標:

・他のメンバーに自己紹介する

・他のメンバーのポストと名前を覚える

## Track\_9

A: 失礼します。ちょっとよろしいですか。

B: はい、どうぞ。

A: 私、今日からこちらでお世話になります。ラシュと申します。よろしくお願いします。

B: こちらこそ。私はSEの新山です。

A: 新山さんですね。

B: ラシュさんは、どちらからいらっしゃったんですか。

A: インドのバンガロール市からです。

B: システム開発の仕事は長いんですか。

A: だいたい3年ぐらいです。開発言語は主にPHPを使っています。

B: JAVAはどうですか。

A: 何とか使えますが、まだ勉強中です。

B: UNIXは詳しいですか。

A: だいたいわかります。データベースはMySQLの場合が多かったですね。

B: どんなシステムを作っていたんですか。

A: 勘定系システムなんかを作っていました。

B: なるほど。ここではJavaを使うことが多いですから、大変かもしれませんが、頑張ってください。

わからないことがあったら、何でも聞いてください。

A: ありがとうございます。よろしくお願いします。

## Track\_10

A: すみません、ちょっとよろしいですか。

B: はい、何か。

A: 私、リーと申します。本日よりこちらでお世話になります。よろしくお願いいたします。

B: 新入社員の方ですね。私は上級SEの大沢です。よろしく。

A: 大沢さんですね。

B: そうです。リーさん、ご出身はどちらですか。

A: 中国の大連です。

B: 大連ですか。日本の企業がたくさん進出していますよね。大連では、どんな言語で開発していたんですか。

A: PHPが多いかったですが、最近はJavaの仕事が多くなってきましたね。

B: なるほど。では、OSは？こちらはUNIXの仕事が多いんですが大丈夫ですか。

A: UNIXで動くアプリは、今でもたくさん作ってきました。

B: そうですか。データベースは？　こちらでは、オラクルのものが多いんですが。

A: オラクルはまだ勉強中です。PostgreSQLならだいたいわかるんですが。

B: じゃあ、すぐ慣れるでしょう。PostgreSQLはどんなシステムで使ったんですか。

A: 食品会社のオンラインショップなんかで使っていました。

B: そうですか。じゃあ、うちのプロジェクトでも大丈夫ですね。でも、何かあったら、いつでも聞いてください

A: ありがとうございます。よりしくお願いします。

# 2.2・要件定義書の読解

目標:

・プロジェクト文書を読む指示が理解できる

・締め切り日を確認できる

## Track\_11

A: リーさん、今、ちょっといい？

B: はい、3時の定例会議までは空いています。

A: では手短に。これは今度のプロジェクトの資料で、要件定義書です。

B: はい。これに目を通しておくんですね。期限はいつですか。

A: 明日です。内部設定書ももうできますから。

B: 明日ですか。すみません、私の日本語力では、かなり厳しいのですが・・・

A: そうですか。じゃあ、３日でお願いします。

B: ３日ですか。ちょっと心配ですが、頑張ります。

A: リーさんなら大丈夫ですよ。みんなも協力するし。

B: 読んでもわからないところは、どうすればいいでしょうか。

A: まず、自分で推測してみてください。自信がなかったら本棚に辞書もあります。辞書にない言葉は、大沢さんに聞いてください。大沢さんが席を外している時は、私に聞いてください。

B: はい、わかりました。ありがとうございます。

A: くれぐれも、設計の理解があやふやなまま実装の段階に入らないようにね。じゃあ、大変だけど、よろしく。

B: はい、頑張ります。

## Track\_12

A: ラジュさん、ちょっといいですか。

B: はい。

A: 内部設計書、届いていますよ。

B: あ、はい。これを読むんですね。いつまでですか。

A: 明日から実装だから、今日中に読んでおいた方がいいんじゃないかな。

B: え、今日中ですか。実は私、話すの大丈夫なんですが、読むのは苦手で・・・

A: じゃあ、今週中ぐらいには読めそうですか。

B: はい、それなら何とかできると思います。

A: でも、実装はスケジュールどおりに始まりますから、とりあえず最初の方は読んでおいてくださいね。

B: わかりました。知らない言葉があったらお聞きしてもいいですか。

A: もちろん。でも、まずは辞書をみてくださいね。辞書にない言葉は、私に聞けばいいですから。

B: ありがとうございます。よろしくお願いします。

# 3・要件定義書の読解

目標:

・プロジェクト文書を読む指示が理解できる

・締め切り日を確認できる

## Track\_12

A:

B:

A:

B:

A:

B:

A:

B:

A:

B:

A:

B:

A:

B:

A:

B:

A:

B: